

2019年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年10月11日

上場会社名 株式会社ジンスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 田中 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001  
 定時株主総会開催予定日 2019年11月28日 配当支払開始予定日 2019年11月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年11月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期の連結業績 (2018年9月1日~2019年8月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期	61,893	12.8	7,459	22.9	7,015	24.6	3,869	25.0
2018年8月期	54,872	8.8	6,071	12.4	5,627	7.7	3,097	11.9
(注) 包括利益	2019年8月期		3,827百万円 (25.3%)		2018年8月期		3,055百万円 (6.0%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年8月期	161.40	—	18.4	20.6	12.1
2018年8月期	129.17	—	16.6	18.2	11.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期	36,628	22,370	61.1	933.01
2018年8月期	31,499	19,707	62.6	821.95
(参考) 自己資本	2019年8月期 22,370百万円		2018年8月期 19,707百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年8月期	6,877	△2,836	△1,724	8,479
2018年8月期	4,742	△3,064	△2,996	5,531

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年8月期	—	0.00	—	48.00	48.00	1,150	37.2	6.2
2019年8月期	—	0.00	—	50.00	50.00	1,198	31.0	5.7
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		29.6	

3. 2020年8月期の連結業績予想 (2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,650	11.2	3,000	12.2	2,620	6.2	1,600	10.8	66.72
通期	68,100	10.0	8,300	11.3	7,600	8.3	4,450	15.0	185.57

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期	23,980,000株	2018年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期	3,491株	2018年8月期	3,491株
③ 期中平均株式数	2019年8月期	23,976,509株	2018年8月期	23,976,509株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の6ページ「今後の見通し」をご覧ください。

・当社は、2019年10月11日にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(追加情報) .....	16
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17
(1) 役員の変動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ①経営成績の概況

当連結会計年度(2018年9月1日～2019年8月31日)における国内経済は、相次ぐ自然災害を背景にした消費者マインドの低下およびインバウンド需要の減少があったものの個人消費は持ち直しており、景気は緩やかに回復しました。一方、世界経済に目を向けると、米国と中国間の貿易摩擦の深刻化があり、中国では景気の緩やかな減速が続いているものの、全体として景気回復傾向が続きました。

また、国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)は、2016年3月以降、前年同期比マイナスの傾向が継続しており、足元は引き続き弱含みに推移しております。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げている商品ラインアップの多様化および接客力、店舗オペレーション力の向上などの取り組みを進めてまいりました。

また国内アイウェア事業において更なる成長を実現していくために、イノベーティブなプロダクトの開発や店舗オペレーションの効率化に注力しました。商品開発につきましては、「近視のない世界の実現」に向けた取り組みの一環として、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器開発の共同プロジェクトに着手しました。これにより、当連結会計年度の研究開発費の総額は88百万円となりました。店舗戦略につきましては、ショッピングモール形態での出店を継続しながらも郊外ロードサイドへの出店を加速し、更なる店舗基盤の強化に努めてまいりました。

なお、前連結会計年度まで当社の非連結子会社でありました台湾晴姿股份有限公司につきましては、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めており、報告セグメントは「海外アイウェア事業」であります。

店舗展開につきましては、当連結会計年度末におけるアイウェア専門ショップの店舗数は、国内直営店379店舗、海外直営店181店舗(中国144店舗、台湾28店舗、香港4店舗、米国5店舗)の合計560店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は新規連結および各国での新規出店等により伸長し61,893百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益は売上高総利益率を改善したこと等により7,459百万円(前年同期比22.9%増)、経常利益7,015百万円(前年同期比24.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3,869百万円(前年同期比25.0%増)となりました。

## ②セグメント業績の概況

セグメント別の売上高は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	構成比	前年同期比
国内アイウェア事業	48,155百万円	77.8%	106.9%
海外アイウェア事業	11,095百万円	17.9%	153.8%
雑貨事業	2,642百万円	4.3%	102.0%
合計	61,893百万円	100.0%	112.8%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、3プライス制の価格戦略における高価格帯商品のバリエーションを拡充し、1本で簡単にメガネにもサングラスにもなるアイウェア「JINS Switch (ジズ・スイッチ)」および12,000円の価格帯で発売している「Combi Slim Airframe」等が順調な売れ行きだったことにより、一式単価が上昇いたしました。また、売上総利益率は一式単価の上昇およびセールの抑制により改善いたしました。

店舗展開につきましては、国内直営店舗数は379店舗（出店32店舗、退店2店舗）となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高48,155百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益7,242百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

## 〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国において、出店政策を見直した結果、足元では既存店売上高の成長率は改善傾向にあります。

第1四半期連結会計期間より連結の範囲に追加いたしました台湾においては、2015年11月の台湾1号店の出店から順調に伸長しております。

香港においては、2018年9月に九龍区に出店した1号店を皮切りに4店舗を出店し好評をもって受け入れられておりますが、政情不安等の影響もあり、出店による先行費用を補うには至りませんでした。

米国においては、引き続き既存店売上高の高成長が継続していることから出店を再開し、2018年8月にカリフォルニア州トーランス市に新店を出店しました。

店舗展開につきましては、中国直営店144店舗（出店20店舗、退店6店舗）、台湾直営店28店舗（出店7店舗、退店なし）、香港直営店4店舗（出店4店舗、退店なし）、米国直営店5店舗（出店1店舗、退店なし）の合計181店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高11,095百万円（前年同期比53.8%増）、営業利益360百万円（前年同期比409.0%増）となりました。

## 〈雑貨事業〉

雑貨事業を取り巻く環境は、通販サイトおよび中古市場の台頭等により厳しさを増しておりますが、市況の変化に対応できるよう店舗オペレーションおよび商品戦略の見直しを行っており、業績は回復基調にあります。

店舗展開につきましては、メンズ雑貨専門ショップ20店舗（出店なし、退店1店舗）、レディース雑貨専門ショップ18店舗（出店なし、退店1店舗）となりました。

以上の結果、雑貨事業の業績は、売上高2,642百万円（前年同期比2.0%増）、営業損失144百万円（前年同期は営業損失235百万円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2018年8月期末	2019年8月期末	増減	増減率(%)
総資産	31,499	36,628	5,129	16.3
負債	11,792	14,258	2,466	20.9
純資産	19,707	22,370	2,662	13.5

## (イ) 資産

流動資産は、19,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,242百万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が2,947百万円、商品及び製品が454百万円、受取手形及び売掛金が978百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、16,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ922百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が168百万円、システム投資によりソフトウェアが464百万円、敷金及び保証金が288百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、36,628百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,129百万円増加いたしました。

## (ロ) 負債

流動負債は、10,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,217百万円増加いたしました。

これは主に、短期借入金が755百万円、未払金及び未払費用が667百万円、未払法人税等が538百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、3,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円増加いたしました。

これは主に、長期未払金が316百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は14,258百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,466百万円増加いたしました。

## (ハ) 純資産

純資産合計は、22,370百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,662百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払により1,150百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益3,869百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は8,479百万円となりました。

(単位：百万円)

	2018年8月期	2019年8月期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	4,742	6,877	2,134
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,064	△2,836	227
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,996	△1,724	1,272

## (イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2,134百万円増加し、6,877百万円の収入となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益6,238百万円の計上、減価償却費2,529百万円の計上による資金の増加があったものの、たな卸資産の増減額293百万円、法人税等の支払額2,216百万円による資金の減少があったことによるものであります。

## (ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ227百万円減少し、2,836百万円の支出となりました。

これは主に、店舗の出店及び改装に伴う有形固定資産の取得による支出1,939百万円、貸付けによる支出183百万円、敷金及び保証金の差入による支出443百万円によるものであります。

## (ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1,272百万円減少し、1,724百万円の支出となりました。

これは主に、短期借入金の純増額841百万円による資金の増加があったものの、割賦債務の返済による支出422百万円、リース債務の返済による支出715百万円、配当金の支払額1,150百万円による資金の減少があったことによるものであります。

## (ニ) キャッシュ・フロー関連指標の推移

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は、次のとおりです。

	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期
自己資本比率(%)	56.7	58.1	57.7	62.6	61.1
時価ベースの自己資本比率(%)	550.4	434.2	509.6	434.7	384.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	108.4	229.4	89.4	89.4	69.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	75.8	28.6	45.2	31.6	40.9

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1 株式時価総額は、期末株価終値×発行済株式総数により算出しております。

(注) 2 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注) 3 キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済は、引き続き緩やかな回復基調が継続しているものの、通商問題の深刻化の懸念、中国経済の動向等、世界経済を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況にあります。

このような経営環境のもとで、当社グループがさらなる成長を実現していくために、引き続き商品力、接客力の向上に努めながら、バイオレットライトを用いた近視進行抑制メガネ型医療機器といったようなお客様により良い価値を提供できるイノベティブなプロダクトの開発や様々なニーズに応えられるサービスの導入を進めるなど、より一層の顧客価値の向上を最重要課題として取り組んでいく方針です。

国内アイウェア事業につきましては、引き続き郊外ロードサイドへの出店を加速し、市場規模の大きいシニア層の獲得に対する取り組みを進めてまいります。また、「JINSオリジナルアプリ」等により、オンラインでも実店舗でもお客様がより購買しやすい革新的な顧客体験の創造を進めてまいります。

一方、海外アイウェア事業に関しましては、中国事業は、商品の差別化、接客サービスの向上などに取り組み、既存店の着実な増収を推し進めるとともに、適切な新規出店を行うことで収益性の向上に取り組んでまいります。また、台湾事業および香港事業においては、認知度の向上により売上高も伸長しており、店舗出店を進め事業拡大に取り組んでまいります。米国事業は、引き続き収益性の改善に取り組んでまいります。

以上により、2020年8月期の通期連結業績予想を、売上高68,100百万円、営業利益8,300百万円、経常利益7,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,450百万円としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,531	8,479
受取手形及び売掛金	3,418	4,396
商品及び製品	4,756	5,211
原材料及び貯蔵品	245	234
その他	1,540	1,413
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,491	19,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,510	13,460
減価償却累計額	△5,578	△6,584
建物及び構築物(純額)	6,932	6,876
機械装置及び運搬具	106	136
減価償却累計額	△44	△55
機械装置及び運搬具(純額)	62	80
工具、器具及び備品	1,648	1,874
減価償却累計額	△1,007	△1,256
工具、器具及び備品(純額)	640	618
土地	14	—
リース資産	2,181	2,821
減価償却累計額	△1,164	△1,599
リース資産(純額)	1,016	1,222
建設仮勘定	59	96
有形固定資産合計	8,725	8,893
無形固定資産		
リース資産	425	236
その他	1,422	1,916
無形固定資産合計	1,848	2,153
投資その他の資産		
投資有価証券	457	200
長期貸付金	514	652
繰延税金資産	476	748
敷金及び保証金	3,867	4,156
その他	56	63
投資その他の資産合計	5,372	5,821
固定資産合計	15,946	16,868
繰延資産		
開業費	61	25
繰延資産合計	61	25
資産合計	31,499	36,628

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当連結会計年度 (2019年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,484	1,370
短期借入金	1,223	1,979
1年内返済予定の長期借入金	369	181
未払金及び未払費用	3,087	3,755
リース債務	606	698
未払法人税等	1,301	1,839
未払消費税等	49	337
資産除去債務	20	—
その他	310	507
流動負債合計	8,452	10,669
固定負債		
長期借入金	1,225	1,135
リース債務	816	807
資産除去債務	479	506
その他	818	1,139
固定負債合計	3,339	3,589
負債合計	11,792	14,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,179	3,179
利益剰余金	13,401	16,133
自己株式	△1	△1
株主資本合計	19,781	22,513
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△74	△143
その他の包括利益累計額合計	△74	△143
純資産合計	19,707	22,370
負債純資産合計	31,499	36,628

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
売上高	54,872	61,893
売上原価	13,416	14,550
売上総利益	41,455	47,343
販売費及び一般管理費	35,384	39,884
営業利益	6,071	7,459
営業外収益		
受取利息	8	5
受取手数料	21	61
受取賃貸料	10	7
還付消費税等	—	127
その他	20	62
営業外収益合計	61	264
営業外費用		
支払利息	152	155
不動産賃貸費用	247	309
支払手数料	3	4
開業費償却	35	35
為替差損	55	130
その他	10	73
営業外費用合計	505	708
経常利益	5,627	7,015
特別損失		
倉庫移転費用	41	—
固定資産除却損	198	121
減損損失	445	592
店舗閉鎖損失	27	19
その他	5	42
特別損失合計	718	776
税金等調整前当期純利益	4,909	6,238
法人税、住民税及び事業税	1,882	2,587
法人税等調整額	△69	△218
法人税等合計	1,812	2,369
当期純利益	3,097	3,869
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,097	3,869

## 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
当期純利益	3,097	3,869
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△41	△42
その他の包括利益合計	△41	△42
包括利益	3,055	3,827
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,055	3,827
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,202	3,179	11,167	△1	17,547	△32	△32	17,515
当期変動額								
剰余金の配当			△863		△863			△863
親会社株主に帰属する当期純利益			3,097		3,097			3,097
連結範囲の変動					—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△41	△41	△41
当期変動額合計	—	—	2,233	—	2,233	△41	△41	2,192
当期末残高	3,202	3,179	13,401	△1	19,781	△74	△74	19,707

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,202	3,179	13,401	△1	19,781	△74	△74	19,707
当期変動額								
剰余金の配当			△1,150		△1,150			△1,150
親会社株主に帰属する当期純利益			3,869		3,869			3,869
連結範囲の変動			12		12	△25	△25	△12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△42	△42	△42
当期変動額合計	—	—	2,731	—	2,731	△68	△68	2,663
当期末残高	3,202	3,179	16,133	△1	22,513	△143	△143	22,370

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,909	6,238
減価償却費	2,369	2,529
減損損失	445	592
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△8	△5
支払利息	152	155
支払手数料	3	-
為替差損益(△は益)	20	92
固定資産除却損	198	121
店舗閉鎖損失	27	19
売上債権の増減額(△は増加)	△111	△980
たな卸資産の増減額(△は増加)	△488	△293
その他の資産の増減額(△は増加)	△91	△353
仕入債務の増減額(△は減少)	△174	△156
未払消費税等の増減額(△は減少)	△381	278
未払金の増減額(△は減少)	47	517
未払費用の増減額(△は減少)	46	337
その他の負債の増減額(△は減少)	△157	55
その他	23	108
小計	6,831	9,256
利息及び配当金の受取額	8	5
利息の支払額	△149	△168
手数料の支払額	△3	-
リース契約解除に伴う支払額	△13	-
法人税等の支払額	△1,930	△2,216
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,742	6,877
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,102	△1,939
有形固定資産の売却による収入	-	8
無形固定資産の取得による支出	△138	△352
貸付けによる支出	△637	△183
貸付金の回収による収入	24	32
投資有価証券の取得による支出	-	△99
敷金及び保証金の差入による支出	△365	△443
敷金及び保証金の回収による収入	155	139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,064	△2,836

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△708	841
長期借入れによる収入	41	100
長期借入金の返済による支出	△393	△377
割賦債務の返済による支出	△403	△422
リース債務の返済による支出	△668	△715
配当金の支払額	△862	△1,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,996	△1,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,328	2,211
現金及び現金同等物の期首残高	6,860	5,531
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	735
現金及び現金同等物の期末残高	5,531	8,479

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、グループ全体を統括する持株会社である当社の下で、各事業会社を基礎とした事業、地域別のセグメントから構成されており、「国内アイウェア事業」、「海外アイウェア事業」及び「雑貨事業」の3つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「国内アイウェア事業」及び「海外アイウェア事業」では、主に眼鏡等を販売しており、各国の現地法人がそれぞれ店舗及びインターネット等における眼鏡等の販売を担当しております。

「雑貨事業」は、主にメンズ雑貨及びレディース雑貨を販売しております。

## (3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2019年7月1日付で持株会社体制へ移行したことにより、当社がグループ経営管理事業を担うことになりました。これに伴い、グループ経営管理事業で発生した収益および費用は各報告セグメントに配賦しております。また、当社が保有する全社資産を調整額にする方法としております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産 その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は主に市場価格に基づいております。



## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	45,067	7,213	2,589	54,871	0	—	54,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	—	—	123	—	△123	—
計	45,190	7,213	2,589	54,994	0	△123	54,872
セグメント利益又は損 失(△)	6,235	70	△235	6,070	0	—	6,071
セグメント資産	24,546	5,538	1,126	31,211	5,893	△5,604	31,499
その他の項目							
減価償却費	1,789	538	42	2,369	—	—	2,369
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	3,018	654	62	3,735	—	—	3,735

(注) 1 「その他」の区分は、全社部門等であります。

2 セグメント資産の調整額△5,604百万円には、投資と資本の相殺消去△4,147百万円、債権債務の相殺消去△1,749百万円、貸倒引当金の修正292百万円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,155	11,095	2,642	61,893	—	61,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	459	12	—	472	△472	—
計	48,614	11,108	2,642	62,366	△472	61,893
セグメント利益又は損 失(△)	7,242	360	△144	7,459	—	7,459
セグメント資産	23,863	8,513	1,084	33,461	3,167	36,628
その他の項目						
減価償却費	1,810	686	32	2,529	—	2,529
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,594	673	27	3,296	—	3,296

(注) 1 セグメント資産の調整額3,167百万円には、主に投資と資本の相殺消去△4,868百万円、債権債務の相殺消去△21,102百万円、貸倒引当金の修正606百万円、及び各報告セグメントに配分していない全社資産等28,596百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
1株当たり純資産額	821円95銭	933円01銭
1株当たり当期純利益金額	129円17銭	161円40銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2018年8月31日)	当連結会計年度末 (2019年8月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の 合計額 (百万円)	19,707	22,370
純資産の部の合計額から控除 する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	19,707	22,370
1株当たり純資産額の算定に用 いられた期末の普通株式の数 (株)	23,976,509	23,976,509

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年9月1日 至 2018年8月31日)	当連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)
連結損益計算書上の当期純利益 (百万円)	3,097	3,869
普通株式に係る当期純利益 (百万円)	3,097	3,869
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数 (株)	23,976,509	23,976,509

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ①代表取締役の変動

該当事項はありません。

###### ②その他の役員の変動

開示内容が定まった時点で開示いたします。